

端を避けて流水冷却すれば、きわめて簡単にしかも精度再現性も良好な H_2 , O_2 分析試料を採取することができる。なお一度使用した石英管は試片の取外しを上手にやれば再度何回でも使用可能であり、また従来法のごとく大量の水銀を使用しないためきわめて経済的でもある。

VII. 真空溶融法による鑄鉄ガス分析一例

クリプトル炉溶解による鑄鉄を 1650°C 溶融法により求めた O_2 , H_2 , N_2 間の関係を Fig. 9 に示す。これによると O_2 と H_2 とは正比例関係にあり、これに J. E. Hurst の測定結果とよく一致することが認められる。(昭和 31 年 9 月寄稿)

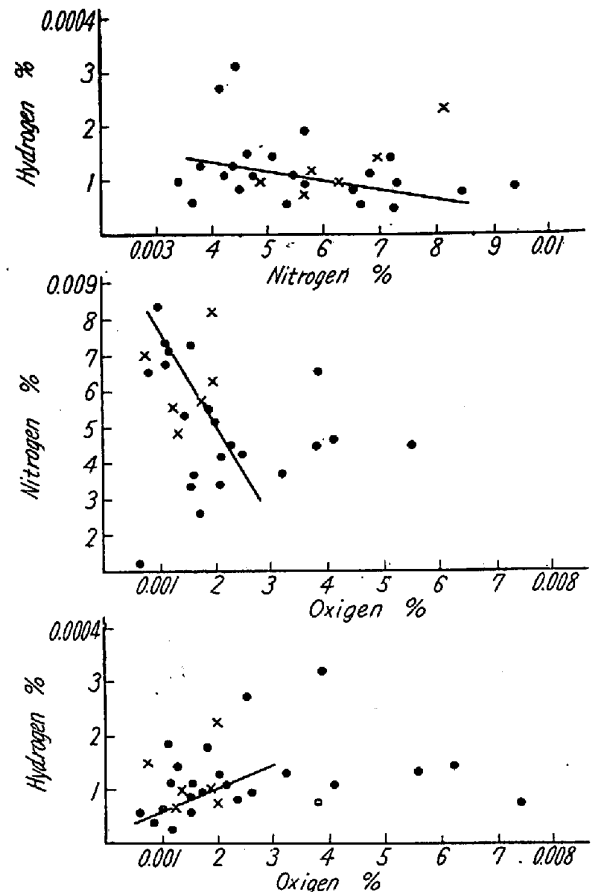


Fig. 9. Relation between O, H, and N_2 by vacuum-fusion method.

新しくきまつた J I S

G 0303—1954	鋼材の検査通則	確 認
G 3526—1951	輸出鉄丸クギ	〃
G 3530—1951	輸出ガイ装線	〃
G 3531—1951	輸出電信線	〃
G 3532—1954	鉄 線	〃
G 3533—1954	バーブドワイヤ	〃
G 4302—1954	耐 熱 鋼	〃
G 3523—1957	被覆アーク溶接棒心線	改 正
G 3503—1957	被覆アーク溶接棒心線用線材	改 正